

登録鳶・土工基幹技能者 新規講習 試験問題

2026年6月14日(日) 実施

東京（13）名古屋（15）大阪（16）

地区番号		受講番号	
------	--	------	--

氏名	
----	--

【試験上の注意事項】

1. 試験時間は**60分間**です。 但し、開始後**30分間**は退席できません。30分経過後は退出可能となるが、一旦退出した者の再入室は認めません。
2. 試験問題は**6ページ50問**あります。試験問題に落丁等がある場合には係員に申し出て下さい。
また、**両面印刷**ですのでご注意ください。
3. 係員の開始の声がかかるまで、試験問題を開けないで下さい。
4. **出題方式は、4者択一式及び正誤式です。**
問題1～問題25は、その答え(①～④の数字)を解答用紙に記入して下さい。
問題26～問題50は、その答えを(○×)を解答用紙に記入して下さい。
合計点が**60点以上**で合格となります。
5. 問題用紙と解答用紙に**地区番号・受講番号・氏名**の記入が必要です。
地区番号・受講番号・氏名の記入がないと**不合格になります**ので、必ず記入して下さい。
6. 退出時は、**問題用紙・解答用紙双方を試験監督者に必ず提出して下さい。**
7. 机の上には筆記用具以外は物を置かないようにして下さい。
8. 携帯電話、PHS等すべての通信機器類の電源を切りの、鞆等に閉まって下さい。
9. 試験中に不正行為を行った場合は、その時点で失格として退場を命じます。

2026年6月登録鳶・土工基幹技能者 新規講習 試験問題

問題1. 人口減少が及ぼす影響に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 国際競争力の低下
- ② 医療・介護費の縮小
- ③ 社会保障制度の縮小
- ④ 財政の危機

問題2. 週休2日制の推進に向けた取り組みに関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 時間外労働の上限は原則月45時間以内と定められている
- ② 臨時的で特別な事情がある場合、時間外労働と休日労働の合計を120時間まで延長できる
- ③ 国土交通省では工事現場における週休2日制の導入・定着を図るため週休2日モデル工事を推進している
- ④ 建設キャリアアップシステムは、建設技能者の就業履歴を閲覧できるシステムである

問題3. 登録基幹技能者の役割に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 現場の状況に応じた施工方法等の提案、調整等を行う
- ② 元請に対して適切な施工の計画・設計等の提案を行う
- ③ 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示、指導を行う
- ④ 前工程・後工程に配慮した他の職種との連絡・調整を行う

問題4. 登録基幹技能者制度に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 登録基幹技能者は、監理技術者の要件の1つとして認められている
- ② 公共工事の入札に当たっては、経営事項審査の加点評価対象となっている
- ③ 公共工事における総合評価落札方式において評価・活用されている
- ④ 登録基幹技能者は、品確法において中核的人材に位置付けられている

問題5. 登録基幹技能者が担うべき指導・育成等に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① OJTは上司の仕事そのものであるという認識を持つことが大切である
- ② 部下の能力レベルに合わせた目標を立て指導・育成を行うことが大切である
- ③ 指導で大切なことは、指示通りにやらせることである
- ④ 自己啓発とは、自分自身の意志による、自身の成長に繋がるような取組みをすることである

問題6. 建設工事の特徴に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 一品受注生産で大規模なものから小規模なものまでさまざまである
- ② 目的物が土地の上に固着してつくられるので造り直しが容易にできない
- ③ 屋外の工事が多く降雨、出水、土質など天候・自然現象に左右される
- ④ 完成した建物の良し悪し（品質）は施工結果における出来形管理が重要となる

問題7. 施工管理の事前調査に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

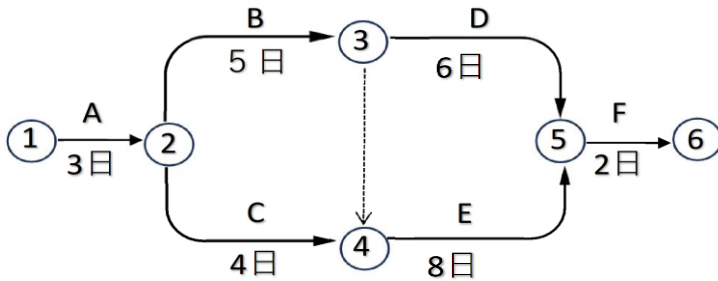
- ① 工事（作業）の詳細を確認する
- ② 現場内の状況を確認する
- ③ 現場周辺及び道路、交通状況を確認する
- ④ 工事予算以外の作業内容と条件、仕事量、工程の詳細を確認する

問題8. 工程計画の作成手順に関する記述として適当なものを1つ選びなさい

- ① 施工方法の選定 → 作業可能日数の算定 → 1日平均施工量の算定 → 施工速度の算定
- ② 1日平均施工量の算定 → 施工速度の算定 → 作業可能日数の算定 → 施工方法の選定
- ③ 施工方法の選定 → 施工速度の算定 → 1日平均施工量の算定 → 作業可能日数の算定
- ④ 作業可能日数の算定 → 施工速度の算定 → 1日平均施工量の算定 → 施工方法の選定

問題9. 下図のネットワーク工程表に関する記述として適当なものを1つ選びなさい

- ① 作業Bの終了までは7日かかる
- ② 作業Cは1日間の余裕がある
- ③ 作業Eは8日目から開始できる
- ④ このネットワークの全体作業を終了させるには17日かかる



問題10. 各工事現場の原価管理の一般的な流れとして正しい順序を1つ選びなさい

- ① 請負契約 → 実行予算の作成 → 見積原価の管理 → 予算実績管理
- ② 見積原価の管理 → 請負契約 → 実行予算の作成 → 予算実績管理
- ③ 請負契約 → 見積原価の管理 → 実行予算の作成 → 予算実績管理
- ④ 実行予算の作成 → 見積原価の管理 → 請負契約 → 予算実績管理

問題11. 原価管理に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 建設会社の経営は各工事現場で生み出す利益によって成り立っている
- ② 建設の世界では「積算」と「見積り」は区別され「積算」は原価の推定である
- ③ 実際の工事の実行に必要な費用を精密に予測・算出したものが実行予算である
- ④ 実行予算は施工計画とは切り離して作成する

問題12. 次の各記述のうち建設業の4原価要素に含まれないものを1つ選びなさい

- ① 労務費
- ② 共通費
- ③ 外注費
- ④ 材料費

問題13. 建設機械の一般管理に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 現場搬入後の、運用期間中の適正な整備状態の維持および監視をする
- ② 建設機械の使用・取扱いにあたっては、定められた有資格者を選任する
- ③ 各部分の異常の有無について定期的に自主検査を行い、その結果を記録しておく
- ④ 機械の能力を超えて使用する場合には安全装置を解除する必要がある

問題14. 品質管理に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 品質特性とは、品質を構成する特性を具体的な数値で表示することである
- ② JIS規格は、産業標準化法に基づき制定される国家規格である
- ③ 顧客の要求を大きく超える品質は、製品や品質やサービスの競争力を低下させる
- ④ 最終的な品質の高さは、品質の高い工程の積み重ねることによって実現する

問題15. 設計品質と施工品質に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 設計品質と施工品質は、それぞれ独立していることが前提である
- ② 仮設方法を指定したり施工方法を具体的に定めたものを仕様規定という
- ③ 詳細な方法を指定せず求める品質が満たしていれば良しとすることが性能規定である
- ④ IS値は、建物の耐震性能を評価するための耐震指標で、値が小さいほど耐震性が高い

問題16. 労働災害の現状に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 建設現場は危険といわれているが、長期的にみると労働災害は大幅に減少している
- ② 製造業などと比べると、依然として、建設業は事故が多い産業といわれている
- ③ 労働災害減少の要因は、工事量減少が主要因である
- ④ 労働災害は、労働者が就業中や通勤途上で負傷、疾病、障害、死亡する災害をいう

問題17. 労働安全衛生法に定める「悪天候」の記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 強風とは、10分間の平均風速が毎秒10メートル以上をいう
- ② 大雨とは、1回の降雨量が50ミリメートル以上をいう
- ③ 大雪とは、1回の降雪量が25センチメートル以上をいう
- ④ 中震以上の地震とは、震度階数3以上の地震をいう

問題18. 要求性能墜落制止用器具の選定に関する記述として不適当なもの1つ選びなさい

- ① 6.75メートルを超える箇所では、フルハーネス型を選定する
- ② ショックアブソーバーは、落下距離によって適切な種別を選定する
- ③ U字つり胴ベルト単体では、墜落制止用器具として使用することができない
- ④ 着用者の体重及びその装備品の重量の合計に耐えるものでなければならない

問題19. 足場からの墜落防止措置に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 幅が1メートル以上の箇所において足場を使用するときは、原則として本足場を使用する
- ② 事業者及び注文者が足場の点検を行う際は、あらかじめ点検者を指名することが必要である
- ③ 足場の点検者の指名の方法は、書面で行わなければならない、口頭やメール等による伝達は認められない
- ④ 足場の点検は、足場の組立て等作業主任者能力向上教育等を受講した者が行う

問題20. 安全指示の伝達に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 指示を出す人は、例外は認めない、安易な妥協をせず、毅然とした態度と強い信念で臨む
- ② 指示には主語をつけ、誰が行うかを明確にする
- ③ 指示はポイントを絞り、短時間で簡潔に行い、それを繰り返し説明する
- ④ 指示は大人数に対して一度に行う方が、効率よく伝達できる

問題21. 見積条件の提示等に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 請負代金の額は、必ず見積条件として提示しなければならない
- ② 見積条件及び他工種との関係部位、特殊部分に関する事項
- ③ 設計図書には数量等を含めて提示する
- ④ 施工環境、施工制約に関する事項

問題22. 書面による契約締結に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 契約書面の交付については、原則として下請工事着工前に行わなければならない
- ② 下請負人の施工範囲や施工条件等については、具体的に記載する必要がある
- ③ 天災その他不可抗力による工期の変更又は損害の負担及びその額の算定方法に関する事項を記載する
- ④ 工事内容については、下請負人の責任施工範囲を詳細に記載しなくてもよい

問題23. 建設業法の工期に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 建設業における働き方改革のためには、適正な工期の確保が必要である
- ② 著しく短い期間とは、工期に関する基準等に照らして不適正に短く設定された期間をいう
- ③ 工期変更に係る工事は、その工事完了までに書面による契約変更を行わなければならない
- ④ 工期変更に起因する費用増を下請負人に一方的に負担させることは建設業法違反となりうる

問題24. 建設業法上、赤伝処理とならないものを1つ選びなさい

- ① 安全協力会費並びに駐車場代、弁当ごみ等のごみ処理費用等の諸費用
- ② 下請代金の支払いに関して発生する振込手数料等の諸費用
- ③ 下請工事の施工に伴い、副次的に発生する建設副産物の運搬処理費用
- ④ 協議・合意のもとに提供、貸与した安全衛生保護具等の費用

問題25. 帳簿の備付け・保存及び営業に関する記述として不適当なものを1つ選びなさい

- ① 帳簿には、営業所の代表者の氏名、請負契約・下請契約に関する事項などを記載しなければならない
- ② 発注者と直接締結した住宅の新築工事に関する帳簿については5年間保存しなければならない
- ③ 帳簿には、契約書若しくはその写し又は電磁的記録を添付しなければならない
- ④ 発注者から直接請け負った場合は、建設工事の完成図書は10年間保存しなければならない

◆建設労働の実態・建設業が取り組むべき課題に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題26. 建設業が目指している働き方改革は主に厚生労働省が定めた「建設業働き方改革加速化プログラム」によって進められている

問題27. パワーハラスメントに定義は存在しない

◆登録基幹技能者制度の意義と役割に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題28. 登録基幹技能者は国土交通大臣の登録を受けた機関が資格認定する国家資格である

問題29. 登録薦・土工基幹技能者講習は、10年以上の実務経験を受講要件としている

問題30. 元請職員の人材不足を補い補佐する観点からも登録基幹技能者が必要である

◆施工管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題31. 仮設備工事は工事の遂行に必要な直接仮設と本工事施工に必要な共通仮設に分けられる

問題32. 施工管理の究極の目的は「ヨク、ハヤク、ヤスク」工事を施工することである

◆工程管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題33. 工期を守るため常に余剰であっても余裕を持った作業員の確保が必要である

問題34. 工程計画は施工計画の中でも根幹的計画であり工程管理の基となる重要な計画である

◆原価管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題35. 現場における原価管理は、実行予算という原価目標を達成することである

問題36. 専門工事業団体毎に法定福利費が別枠で明示された標準見積書が作成されている

問題37. 工事原価以外の年間の本社経費や利益を一般管理費等として算出する

◆ 資材管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題38. 一般道を使用しての輸送は道路管理者や警察の許可を必要とする場合がある

◆ 品質管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題39. 段取り八分とは、事前の準備がいかに重要であるかを表した言葉である

問題40. 瑕疵担保責任は建物施工時に発生し、瑕疵担保期間は、コンクリート構造物の場合は10年と定められている

◆ 安全管理に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題41. 設備の安全点検と整備は、定期点検と使用前点検を行うことが義務づけられている

問題42. 建設用リフトの組立又は解体の作業には、作業主任者の配置が必要である

問題43. 業務上過失致死傷罪は、業務上の必要な注意を怠り、人を死亡させたり怪我を負わせたりした場合に問われる責任である

問題44. KY活動は、作業前にその日の作業の危険を洗い出し対策を立てる活動である

問題45. あいまいな指示をなくすには、いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのようにを明確にする

◆ 関係法令に関する次の記述で正しいものには○、誤っているものには×をつけなさい

問題46. 建設業では、CI-NET等による電子契約締結が認められていない

問題47. 追加工事等について、工事に着手した後又は工事が終了した後に書面により契約変更を行なった場合、建設業法上違反にならない

問題48. 優越的な地位にある元請負人が、下請負人に経済的に不当な取引等を強いることは建設業法上違反となる

問題49. 手形等で下請代金を支払う場合は、現金化に係る割引料等は下請業者が負担する

問題50. 現場代理人と主任技術者とはこれを兼ねることはできない